作成日　1995年12月19日

改訂日　2015年01月05日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	キルパー
整理番号	1296-12
会社名	北興化学工業株式会社
住所	〒103-8341 東京都中央区日本橋本町一丁目5番4号
担当部門	環境安全部
電話番号	03-3279-5831
緊急連絡電話番号	03-3279-5831
FAX番号	03-3279-5195
推奨用途及び使用上の制限	農業用殺菌剤 農薬登録以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分4
	急性毒性(経皮) 区分4
	皮膚腐食性／刺激性 区分2
	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 区分2B
	皮膚感作性 区分1
	生殖毒性 区分2
	特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分2(血液)
	特定標的臓器毒性(単回暴露) 区分3(気道刺激性)
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性) 区分1
	水生環境有害性(慢性) 区分1
	上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素
シンボル

注意喚起語	警告

危険有害性情報	H302 飲み込むと有害
	H312 皮膚に接触すると有害
	H315 皮膚刺激
	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	H320 眼刺激
	H335 呼吸器への刺激のおそれ
	H361 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
	H371 血液の障害のおそれ
	H400 水生生物に非常に強い毒性
	H410 長期的影響により水生生物に強い毒性
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)
	すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202)
	容器を密閉しておくこと。(P233)
	ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)
	ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
	取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
	取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
	屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
	環境への放出を避けること。(P273)
	保護手袋を着用すること。(P280)
	指定された個人用保護具を使用すること。(P281)
応急措置	飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P301+P312)
	皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で優しく洗うこと。(P302+P352)
	吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)

ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P309+P311)

気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)

特別な処置が必要である。(P321)

特別な処置が必要である。(P322)

口をすすぐこと。(P330)

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。(P332+P313)

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。(P333+P313)

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362)

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。(P363)

漏出物は回収すること。(P391)

保管　　容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)

施錠して保管すること。(P405)

廃棄　　内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　　混合物

一般名　　カーバムナトリウム塩

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
ﾅﾄﾘｳﾑ=ﾒﾁﾙｼﾞﾁｵｶﾙﾊﾞﾒｰﾄ(別名　カーバムナトリウム塩)	30.0%	$C_2H_4NNaS_2$	(2)-1797		137-42-8
水等	70.0%				

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　　情報なし

4. 応急措置

吸入した場合　　空気の新鮮な場所に移し、安静にし、保温する。

必要な場合は医師の手当て、診断を受ける。

皮膚に付着した場合　　速やかに多量の水および石鹸で洗い流す。

	必要な場合は医師の手当て、診断を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な水で眼を洗浄し、医師の手当て、診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに医師の手当て、診断を受ける。 口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス、乾燥砂など。
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	火災時に有害ガスが発生するおそれがある。
特有の消火方法	消火作業は風上から行う。 火元への燃焼源を断ち消火剤を使用して消火する。 周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却し、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移動する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行なう。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 漏出した場所の付近に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、飛沫、粉塵、ミスト、ガスなどによる眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
回収・中和並びに封じ込め及び浄化方法・機材	少量の場合、漏出液をおがくず・ウエス・砂等に吸収させてから空容器に回収する。 多量の場合、土砂等でその流れを止め、できるだけ空容器に回収し、その跡をおがくず・砂等と混合して吸収させ同容器に回収する。
二次災害の防止策	特になし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。
	注意事項	容器を転倒、落下させ、衝撃を加える等の粗暴な取扱いをしない。 全体換気の設備がある場所で取扱う。

	安全取扱い注意事項	取扱う前には必ずラベルを良く読むこと。
		すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
		取扱い中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の手当を受けること。
		この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
		接触、吸入又は飲み込まないこと。
		眼に入れないこと。
		取扱い後は手足・顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換すること。
		取扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯すること。
		本剤はアルカリ性のため皮膚に付着したり、眼に入ないように十分注意すること。
		かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
		取扱いに際しては、ガスに暴露しないよう風向き等十分考慮すること。
		本剤取扱後の器具の金属部分は腐食される場合があるので、十分水洗いすること。
		クロルピクリンとは化学反応をおこし発熱するのでクロルピクリン使用後の器具は石油で十分洗ってから、本剤を使用すること。
保管	技術的対策	特に技術的対策は必要としない。
	混触危険物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。
	保管条件	直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。
	容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度		未設定
許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）		
	日本産衛学会（2012年版）	未設定
	ACGIH（2012年版）	未設定
設備対策		取扱いについては、出来るだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
		取扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具	呼吸器の保護具	防じんマスク
	手の保護具	不浸透性手袋
	眼の保護具	側板付き眼鏡またはゴーグル型保護眼鏡
	皮膚及び身体の保護具	長袖の作業衣・長靴
衛生対策		取扱い後は手足、顔などを石鹸でよく洗い、洗眼、うがいをするとともに衣服を交換すること。
		取扱い時に着用していた衣服等は他のものと分けて洗濯すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	水溶性液体
	色	黄色
	臭い	硫黄臭
	pH	10　pH(100ppm)8～9
凝固点		0℃以下
沸点、		100℃以上
引火点		100℃以上
密度		1.15～1.20g/ml （25℃）
溶解性		水に完全に溶解し、大部分の有機溶媒には溶解しない。

10. 安定性及び反応性

安定性		通常の貯蔵・取扱いにおいて安定である。
その他		1)アルミニウムに対して腐食性がある。
		2)酸化により二硫化炭素、ジメチルアミンが発生する。 3)強酸化剤により、硫黄酸化物、窒素酸化物、炭素酸化物が発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	ラット LD_{50}	1,170 mg／kg
	経皮	ウサギ LD_{50}	1,470 mg／kg
刺激性		眼及び皮膚に刺激性がある。	
皮膚感作性		皮膚に感作性がある。	
皮膚腐食性／刺激性		混合物の成分の皮膚腐食性／刺激性－区分2の濃度合計が30%のため皮膚腐食性／刺激性－区分2とした。	

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	混合物の成分の眼に対する重篤な損傷／眼刺激性－区分2Bの濃度合計が30%のため眼に対する重篤な損傷／眼刺激性－区分2Bとした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	混合物の成分の皮膚感作性－区分1の濃度が30%のため皮膚感作性－区分1とした。
生殖毒性	混合物の成分の生殖毒性－区分2の濃度が30%のため生殖毒性－区分2とした。
特定標的臓器毒性（単回暴露）	混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回暴露）－区分2（血液）の濃度が30%のため特定標的臓器毒性（単回暴露）－区分2（血液）とした。
	混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回暴露）－区分3（気道刺激性）の濃度が30%のため特定標的臓器毒性（単回暴露）－区分3（気道刺激性）とした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	混合物の成分の水生環境有害性(急性)－区分1X毒性乗率の濃度合計が30%のため水生環境有害性(急性)－区分1とした。
水生環境有害性（慢性）	混合物の成分の水生環境有害性(慢性)－区分1X毒性乗率の濃度合計が30%のため水生環境有害性(慢性)－区分1とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄に当たっては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	9
国連番号	3082
品名（国際輸送品名）	環境有害物質（液体）
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	該当

国内規制	該当しない
緊急時応急措置指針番号	171
輸送の特定の安全対策及び条件	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行なう。

15. 適用法令

農薬取締法

キルパー
登録番号　18525号
（バックマンラボラトリーズ㈱社）

16. その他の情報

連絡先

会社名　北興化学工業株式会社
担当部門　環境安全部
電話番号　03-3279-5831
FAX番号　03-3279-5195

中毒に関する緊急問合せ先　公益財団法人　日本中毒情報センター

中毒110番	一般市民専用電話（情報提供料：無料）	医療機関専用有料電話（1件につき2,000円）
大阪（365日、24時間）	072-727-2499	072-726-9923
つくば（365日､9～21時）	029-852-9999	029-851-9999

記載内容は現時点での情報、データをもとに作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。本データシートは、製品を安全に取扱うための情報を提供するものであって、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関して保証するものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。